

# 令和6年度 消防設備士試験 試験案内

## 試験日 7月20日(土)

※令和6年5月1日から試験手数料が改定されます。受付期間が令和6年5月1日以降の試験は新手数料となりますので、試験案内7ページをご確認のうえ、誤りのないよう払い込みをお願いします。

申請方法	受 付 期 間
書 面 申 請	<p style="text-align: center;"><b>令和6年5月27日(月)から</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">! 願書折り曲げ厳禁!</span>  <b>令和6年6月4日(火)</b> ※最終日の消印有効</p> <p>※受付期間最終日までの日附印が押印されたセンター指定の「振替払込証明書(お客さま用) <b>受験願書添付用</b>」が貼付されていること。かつ、郵送の場合は受付期間最終日までの消印であること。(受付期間最終日翌日以降の消印は受付できません。受験資格が必要な種類の受験や科目免除を希望される方は、願書提出の際、証明書類の添付が必要です。)</p> <p>→詳細は試験案内7から10ページを必ずご確認ください。</p>
電 子 申 請	<p style="text-align: center;"><b>令和6年5月27日(月) 9時から</b>  <b>令和6年6月4日(火)</b> ※23時59分までに申請完了</p> <p>※申請できる種類に制限があります。          ※申請締切時間前は混雑し、申請が完了しない場合がありますので、時間に余裕をもって申請してください。</p> <p>→詳細は試験案内11ページを必ずご確認ください。</p>

### 【注意事項】

- 試験案内は最後までよく読み、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意したものとみなさせていただきます。  
**書面申請・電子申請ともに、受付後は申請内容の変更や、試験手数料のお返しはできません。**
- この試験案内は、合格後の免状交付申請の手続き方法等についても記載していますので、すべての手続きが終了するまでは大切に保管してください。
- **試験会場周辺のコンビニエンスストアや周辺店舗等への無断駐車や路上駐車はしないでください。警察への通報やレッカー移動など、当センターは責任を負いません。**
- **受験票発送後であっても、試験が延期または中止となることがあります。延期または中止する場合は、鹿児島県支部からの重要なお知らせ又は緊急情報としてホームページに掲示します。**
- 試験当日は、**規格条件に適合した鮮明な写真を貼った受験票を必ず持参してください。**証明写真を貼付した受験票がないと受験できませんのでご注意ください。
- **携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類を時計として使用することはできません。(試験中は電源を切り、カバンの中にしまってください。)**
- 電子申請の利用方法、試験に関する緊急情報や重要なお知らせ等は、当センターホームページでご確認いただけます。(https://www.shoubo-shiken.or.jp)
- **試験手数料が改定されました。試験手数料は右記のとおりです。**  
 詳細は試験案内7ページをご確認ください。

甲種	乙種
6,600円	4,400円

### 【願書提出及び問合せ先】

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町6-6 鴨池南国ビル3階  
**一般財団法人消防試験研究センター 鹿児島県支部**  
 (電話) 099-213-4577 (FAX) 099-285-1255  
 (ホームページ) https://www.shoubo-shiken.or.jp

# 受験手続から合格後の免状交付申請手続きまでの流れ

## 書 面 申 請

【 この案内の 7 ページから 10 ページ参照 】

受験願書・払込用紙・試験案内の入手

受験願書の作成（9・10 ページ参照）  
※不備がある場合、受付けできません。

試験手数料の払い込み（7・8 ページ参照）  
※払込手数料がかかります（本人負担）  
※払込みは郵便局窓口のみ

受験願書の提出（7 ページでチェック）  
※受付期間中に郵送又は持参して提出  
※提出は、（一財）消防試験研究センター鹿児島  
島支部（宛先は表紙下部に記載）

受験票の受け取り  
※試験の約 10 日前に当センターから郵送

## 電 子 申 請

【 この案内の 11 ページ参照 】

当センターホームページから申請  
(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)  
※申請できる種類等に制限があります。  
(11 ページ参照)

試験手数料の払い込み（11 ページ参照）  
※払込手数料がかかります（本人負担）  
※コンビニ決済・クレジット決済が可能

受付け完了メールの受信  
(手数料入金確認後、当センターから送信)

受験票ダウンロード可能メールの受信  
(試験の約 10 日前に当センターから送信)

受験票のダウンロード・印刷  
※受験者本人が印刷

受験票へ写真を貼り付け

試験当日  
※写真を貼った受験票がないと  
受験できません

試験結果通知書の受け取り  
※受験者全員に郵送  
書面申請：願書に記載された住所宛  
電子申請：申請の際登録した住所宛

合格者は免状交付申請  
(17 ページ参照)

免状の交付

### 《試験案内掲載内容及び掲載ページ》

1	試験の種類	3
2	試験の日時及び試験会場	3
3	受験の申請方法、申請期間及び申請場所	4
4	受験資格	4～6
5	試験手数料	7
6	書面申請	7～10
7	電子申請	11
8	試験の方法	12
9	試験科目、問題数及び試験時間	12
10	試験科目の一部免除及び証明書類	12～13
11	複数受験	14
12	受験票及び写真	14～15
13	試験当日	16
14	合格基準	16
15	合格発表	16
16	合格後の免状交付申請の手続き	17
17	免状の交付	17
【参考】指定学科一覧表、授業科目一覧表（例示）		18～21

消防法（昭和23年法律第186号）第17条の9第1項の規定により鹿児島県知事から委任された消防設備士試験を次のとおり実施します。

## 1 試験の種類と工事整備対象設備等の種類

甲種・乙種消防設備士試験を行います。

消防設備士免状には甲種と乙種があり、甲種は工事整備対象設備等の工事・整備及び点検ができ、乙種は整備及び点検ができます。類ごとに取り扱う設備が限定されていますので、類ごとに免状が必要です。

試験の種類		工事整備対象設備等の種類
甲種	特類	特殊消防用設備等（従来の消防用設備等に代わり、総務大臣が当該消防用設備等と同等以上の性能があると認定した設備等）
甲種 又は 乙種	第1類	屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、屋外消火栓設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、共同住宅用スプリンクラー設備
	第2類	泡消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、特定駐車場用泡消火設備
	第3類	不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備
	第4類	自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、消防機関へ通報する火災報知設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居住施設用自動火災報知設備
	第5類	金属製避難はしご、救助袋、緩降機
乙種	第6類	消火器
	第7類	漏電火災報知器

## 2 試験の日時及び試験会場

### (1) 試験の日時

試験日	集合時刻	試験開始時刻
令和6年7月20日(土)	午前9時30分	午前10時00分

※試験開始前に説明を行いますので、集合時刻に遅れないようにしてください。

### (2) 試験会場

受験願書の「受験地」欄には、下記の受験地名称（赤文字部分）を記入してください。

**試験会場の選択はできません。受験票の試験会場欄にて確認してください。**

※試験会場の収容人員等の関係で、他の試験会場に変更する場合がありますのでご了承ください。

受験地	試験会場	所在地
鹿児島市	鹿児島大学(共通教育棟1・3・4号館)	鹿児島市郡元1-21-24
奄美市	大島地区消防組合消防本部(会議室)	奄美市名瀬小浜町27-5

**※試験会場への問い合わせは絶対に行わないでください。**

### 3 受験の申請方法、申請期間及び申請場所

申請方法は、書面申請（願書による申請）と電子申請（インターネットからの申請）の2通りがあります。案内1ページに記載のとおり**電子申請と書面申請の申請期間は同じ期間です**。  
詳細は申請方法を記載した各ページをご参照ください。

#### (1) 書面申請

書面申請は、郵送・窓口持参どちらでも可能です。いずれの場合も、受験願書は折り曲げず提出してください。

郵送された受験願書が受理されているかどうか、問い合わせには応じることができません。郵送状況を確認したい場合は、特定記録・簡易書留等ご自身で配達状況が確認できる郵送方法で送付してください。

受付期間	受付時間	申請場所
令和6年5月27日(月)から 令和6年6月4日(火)まで  ※郵送の場合、6月4日の 消印のあるものまで有効	土・日・祝日を除く  午前9時から 午後5時まで	〒890-0064 鹿児島市鴨池新町6-6 鴨池南国ビル3階 (一財)消防試験研究センター鹿児島県支部 電話 099-213-4577

※書面申請される場合は、7・8ページの「6 書面申請」及び9・10ページの「受験願書記入例」を参考に記入し、提出してください。

※郵送の場合6月4日の消印有効です。5日以降の消印で提出された願書は、申請者負担の簡易書留で返送いたします。

#### (2) 電子申請

電子申請は、申請できる種類等に制限があります。11ページの「7 電子申請」を参照し、申請してください。

受付期間	受付時間	問い合わせ先
令和6年5月27日(月) 午前9時から 令和6年6月4日(火) 23時59分まで	期間中 24時間受付	(一財)消防試験研究センター電子申請室 電話 0570-07-1000(有料) 問合せ時間 午前9時～午後5時 (土・日・祝日を除く)

※受付期間最終日の23時59分までに申請が完了している受験申請が有効となります。

### 4 受験資格

試験の種類	受験資格
甲種	<b>受験資格が必要です。</b> 5・6ページの「甲種消防設備士試験受験資格」でご確認ください。
乙種	<b>受験資格は必要ありません。</b> どなたでも受験できます。

過去に甲種消防設備士試験の受験申請をしたことがある方は、その時の「受験票(控)」又は「試験結果通知書」(資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。)を提出することにより、**受験資格の証明書に代えることができます(コピー可)**。ただし、「工事補助5年」の受験資格の場合、添付する過去の受験票等と同じ指定区分を受験する場合があります。

受験願書A面の「甲種受験資格」欄には、5・6ページ「甲種消防設備士試験受験資格」中の「**願書資格欄記入略称**」(赤文字部分)を記入してください。なお、受験資格を証明する書類として、5・6ページ「甲種消防設備士試験受験資格」中の【**証明書類**】を準備し、願書B面(裏)に貼付してください。証明書類として過去の受験票等を使用する場合も、必ず「願書資格欄記入略称」(赤文字部分)を記載してください。

## 甲種消防設備士試験受験資格

受験種類	願書資格欄記入略称	経歴・資格等及び【必要な証明書類】
甲種特類	<b>甲特</b>	甲種第1類から甲種第3類までのいずれか一つ以上の免状の交付を受けており、かつ、甲種第4類と甲種第5類の両方の免状の交付を受けている方 【証明書類：既得免状の写し】
甲種第1類	次に掲げる学校において、 <u>機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する学科又は課程を修めて卒業した方</u> （当該学科又は課程を修めて同法による専門職大学の前期課程を修了した方を含む。） ※18, 19 ページ「指定学科一覧表」でご確認ください。 【証明書類：卒業証明書(原本)又は卒業証書(写し)いずれも学科名が明記されたもの】	
	<b>大卒、短大卒、高専卒</b>	学校教育法による大学、短期大学又は高等専門学校
	<b>専門職了</b>	学校教育法による専門職大学
	<b>高校卒、中等教育卒</b>	学校教育法による高等学校又は中等教育学校(18, 19 ページ指定学科一覧に該当学科がない場合は、20, 21 ページの授業科目一覧に記載のある授業を8単位以上修得して卒業したことがわかる証明書類として【単位修得証明書(原本)】を提出)
	<b>旧大学卒、旧専卒、旧中卒等</b>	旧大学令による大学、旧専門学校令による専門学校又は旧中等学校令による中等学校
	<b>外国の学校</b>	外国に所在する学校で、学校教育法による大学、短期大学、高等専門学校又は高校に相当するもの
	<b>旧大学等卒</b>	旧台湾教育令、旧朝鮮教育令、旧在閩東州及び在滿帝国臣民教育令若しくは大正10年勅令第328号による大学又は専門学校
	<b>旧高師卒</b>	旧師範教育令による高等師範学校
	<b>教員養成所</b>	旧実業学校教員養成所規程による教員養成所
～	次に掲げる学校において、 <u>機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する授業科目を履修し、15単位以上修得した方</u> （単位制でない学校の場合は、授業時間数を換算します。） ※20, 21 ページ「授業科目一覧表」でご確認ください。 【証明書類：単位取得証明書又は授業科目別の履修時間が入った履修証明書(いずれも原本)】	
甲種第5類	<b>大学等15単位</b>	学校教育法による大学、高等専門学校又は大学院
	<b>専修学校</b>	学校教育法による専修学校（専門学校）
	<b>各種学校</b>	学校教育法による各種学校
	<b>大学、短大、高専の専攻科</b>	学校教育法により大学、短期大学又は高等専門学校に置かれる専攻科
	<b>防衛大学校</b>	防衛省設置法による防衛大学校
	<b>防衛医科大学校</b>	防衛省設置法による防衛医科大学校
	<b>職業能力開発総合大学校等</b>	職業能力開発促進法による職業能力開発（総合）大（短）学校
	<b>職業能力開発大学校等</b>	職業能力開発促進法改正前の職業能力開発大（短）学校
	<b>職業訓練大学校等</b>	職業能力開発促進法改正前の職業訓練大（短）学校
	<b>前職業訓練大学校等</b>	職業訓練法改正前の職業訓練大（短）学校
	<b>旧職業訓練大学校</b>	職業訓練法廃止前の職業訓練大学校
	<b>中央職業訓練所</b>	職業訓練法改正前の中央職業訓練所
	<b>水産大学校</b>	独立行政法人水産大学校（農林水産省組織令による水産大学校を含む。）
	<b>海上保安大学校</b>	国土交通省組織令による海上保安大学校
<b>気象大学校</b>	国土交通省組織令による気象大学校	

## 甲種消防設備士試験受験資格

受験種類	願書資格欄記入略称	経歴・資格等及び【必要となる証明書類】
甲種 第1類  ～  甲種 第5類	次に掲げる実務経験を有する方 <b>【証明書類：実務経験証明書(願書B面裏)10ページ参照】</b>	
	<b>整備経験2年</b>	乙種消防設備士免状の交付を受けた後2年以上工事整備対象設備等の整備(消防法第17条5の規定に基づく政令に定めるものに限る。)の経験を有する方
	<b>工事補助5年</b>	<u>受験しようとする指定区分に係る工事整備対象設備等の工事(消火器具、動力消防ポンプ、非常警報器具、誘導標識等の設置を除く。)</u> の補助者として、5年以上の実務を有する方
	<b>消防行政3年</b>	消防行政に係る事務のうち消防用設備等に関する事務について、3年以上の実務経験を有する方
	<b>省令前3年</b>	昭和41年4月21日以前において、消防用設備等の工事について3年以上の実務経験を有する方
	次に掲げる資格、免状等を有する方 <b>【証明書類：免許証・免状・合格証明書等(写し)】</b>	
	<b>技術士(〇〇部門)</b>	技術士法による技術士第2次試験に合格した方
	<b>電気工事士</b>	電気工事士法による電気工事士免状の交付を受けている方、又は電気工事士法施行規則による旧電気工事技術者検定合格証明書の所持者で電気工事士免状の交付を受けているとみなされた方
	<b>電気主任技術者</b>	電気事業法による第1種、第2種又は第3種電気主任技術者免状の交付を受けている方、又は電気事業法附則第7項の規定により電気主任技術者免状の交付を受けているとみなされた方
	<b>博(修)士</b>	理学、工学、農学又は薬学のいずれかに相当する分野において、博士又は修士の学位(外国において授与された学位で、これに相当するものを含む。)を有する方 <u>※学位授与証明書(原本)、学位記(写し)、修了証書(写し)又は修了証明書(原本)</u>
	<b>専検合格者</b>	専門学校卒業程度検定試験の機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する合格者
	<b>管工事技士</b>	建設業法施行令による管工事施工管理技士
	<b>教員免許状</b>	教育職員免許法により、高等学校の工業の教科について普通免許状を有する方(旧教員免許令による教員免許状所有者を含む。)
	<b>無線従事者</b>	電波法第41条の規定により、無線従事者の資格の免許を受けている方(アマチュア無線技士は除く。)
<b>建築士</b>	建築士法による1級建築士又は2級建築士	
<b>配管技能士</b>	職業能力開発促進法(旧職業訓練法)による配管技能士	
<b>ガス主任技術者</b>	ガス事業法によるガス主任技術者免状の交付を受けている方(第4類の受験に限る。)	
<b>給水技術者</b>	給水装置工事主任技術者又は給水責任技術者等	
<b>条例設備士</b>	東京都火災予防条例による旧制度の消防設備士	
<b>甲種</b>	他の指定区分の甲種消防設備士免状の交付を受けている方	

※甲種受験資格の詳細は、当センターのホームページを参照するか、直接お問合せください。

## 5 試験手数料

令和6年5月1日から試験手数料が改定されます。同日以降受付けを開始する試験は、新手数料となりますので、誤りのないよう払い込みをお願いします。払い込み額が不足している場合、受験できませんのでご注意ください。

改定前の試験手数料を払い込まれた方は、当センターの払込取扱票を新たに入手して不足額を払い込み、払い込んだ額の合計が改定後の試験手数料となるよう「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」を願書B面に貼付してください。（7・8ページ6（2）試験手数料の払込方法及び10ページ参照）

試験手数料（非課税）は下表の通りです。払込方法は書面申請と電子申請で異なります。  
**書面申請・電子申請いずれの場合も、払込みされた試験手数料はお返しできません。**

甲種	乙種
6,600円	4,400円

提出の際、ここで提出書類をチェック！

## 6 書面申請

### （1）書面申請に必要な書類

書面申請で提出する書類は下表のとおりです。

提出書類	留意点	確認欄
受験願書	受験する種類ごとに（1種類について1部）作成し、提出してください。 ※9・10ページの記入例を参考にご記入ください。	
振替払込受付証明書（お客さま用） <b>受験願書添付用</b> ※日附印を確認	当センターの払込取扱票で、郵便局又はゆうちょ銀行窓口で払込み、「振替払込受付証明書（お客さま用） <b>受験願書添付用</b> 」を願書B面の指定の箇所にのり付けしてください。（8ページ参照）	
該当者	既得消防設備士免状のコピー	既に消防設備士免状を1種類でも取得している方は、受験願書B面（裏）の指定欄にのり付けしてください。 ※甲種受験資格や試験科目の一部免除に関係なく、取得している場合は必ず添付が必要です。
	甲種受験資格を証明する書類	甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の提出が必要です。 5・6ページの甲種受験資格を確認し、証明書類を願書B面（裏）にのり付けしてください。
	試験の一部免除を受けることができる資格を証明する書類	試験科目の一部免除を希望される方は、免除を受けることができる資格を証明する書類の提出が必要です。 12・13ページを参照し、必要な書類を受験願書B面（裏）にのり付けしてください。 ※免除を「受ける」にしても、資格を証明する書類が貼付されていない場合は免除を受けることはできません。 ※免除を受けた問題は点数として加算されません。免除を受けた問題以外で16ページの合格基準を満たす必要があります。

### （2）試験手数料の払込み方法（書面申請の場合）

ア 受験願書と一緒に受領した払込取扱票を使って、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口（ATM払込は不可）で、**願書受付期間最終日まで**に払い込んでください。

※郵便局又はゆうちょ銀行の窓口払込み取扱時間に注意してください。

※当センター支部の窓口での現金の受理（払込み）はできません。

万が一、自動払込機（ATM）で払い込んだ場合は、その郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」に、日附印を受けてください。

なお、**払込みに係る手数料は受験者本人の負担**となります。また、**一旦払い込みされた試験手数料はお返しできません。**

イ 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」を受験願書B面（表）の所定の欄に貼り付けてください。（本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」や自動払込機の「ご利用明細票」では申請できません。）

紛失、汚損等により「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」を受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えません。紛失、汚損等した場合は、再度払い込みの上、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」を願書に貼り付けてください。

なお、**再度払い込み後、紛失した「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」を発見した場合は、払い込まれた手数料の還付手続きを行うことができます。**

ウ 複数種類の受験の場合は、それぞれの受験願書B面（表）の所定の欄に「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」を貼り付けてください。

**※この部分を願書B面(表)に貼付。(10ページ参照)**

**※この部分では受験申請できません。**

## 【払込取扱票】

**※必ず、当センターの払込取扱票を使用してください。**

**受付期間最終日までの郵便局の日附印**があること。

※日附印がないもの、受付期間後の日附印のものは受け付けることができません。

払込金額を記入

※私印による金額の訂正は無効（郵便局印は可）

※「振替払込受付証明書（お客さま用）**願書添付用**」を紛失した場合、当センターでは責任を負えません。紛失した場合、再度払込みいただくこととなります。

# 消防設備士試験受験願書記入例 << A面 >>

## 注 意 事 項

- 1 受験願書は複写様式になっています。受験者本人が、かい書で丁寧に、正確に黒色のボールペンを使用して記入してください。
- 2 書き損じた場合は、横2本線を引いて消し、その上方に正しく書いてください。
- 3 受験票・結果通知書は願書に記載された住所宛てに送付されます。
- 4 提出の際は、願書を折り曲げずにご提出ください。

※記入例です。試験案内に記載されている内容を確認し、実際に受験する試験や受験地等を記入してください。

【申請者氏名】左づめで、住民票に記載されている氏名をかき書で丁寧に記入  
外国籍の方は住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入

【住所】マスが不足する場合は、郵便が届く程度に省略して記入

【試験日・試験種類・受験地】3ページ参照

【甲種受験資格】5・6ページ「甲種消防設備士試験受験資格」参照

【試験の免除】12・13ページ「試験科目の一部免除及び証明書類」を参照

【複数受験】は、それぞれの願書に他の種類を記入(14ページ参照)

消防設備士免状の取得の有無のいずれかに○印を記入

【免状取得の有無】が「有」の場合、試験の免除を[受ける/受けない]に関係なく、持っている種類全て記入し、願書B面(裏)に写しを貼付

【任意】メールアドレスをお持ちの方は記入してください。(携帯アドレス可)  
提出書類等に不備があった際、電話での連絡が取れない場合に使用可能性があります。  
なお、迷惑メール対策等の設定を行っている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン等の設定を行ってください。(ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp)

氏名のフリガナやマンション名の濁点、半濁点は1マス使用して記入

受験する都道府県名を記入

提出する日を記入

【本籍コード】B面裏の「都道府県コード」を参照して記入

連絡先は、日中連絡が取れる電話番号を必ず記入

試験日の3ヶ月以内に他県で受験申請又は受験した方は記入

主となるものに○印を記入

【免状番号】所持している免状の番号を記入

**消防設備士試験受験願書**

一般財団法人 消防試験研究センター 理事長 殿 都道府県名 **鹿児島** 申請日 令和 〇 年 〇 月 〇 日

申請者氏名 **ショウボウ タロウ** 氏名フリガナ **消防 太郎**

生年日 **大 昭 〇 2 年 1 2 月 0 5 日** 日生 本籍 **鹿児島** 都道府県 本籍コード **46**

電話番号 **890-9999** 必ず記入してください 自宅電話番号 **090-1234-5678** 又は携帯電話番号

住所 **鹿児島県鹿児島市鴨池新町 9-9 消防マンション999号** 勤務先名又は学校名 **〇〇株式会社** 連絡先電話番号(携帯電話も可) **099-999-9999** (内線)

メールアドレス(任意) \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

他の都道府県での受験申請状況

該当する職業等に1つだけ○を記入してください

① 学生 ② 消防設備業 ③ 電気工事業 ④ 管工事業 ⑤ 建築業 ⑥ ビル管理業 ⑦ ビル整備業 ⑧ 公務員 ⑨ その他

取得している消 防設備士免状は全部記入してください	有	無	免状番号	免状交付年月	交付番号	免状交付年月	交付番号	コード
甲4	○		4	25	09	25	99999	鹿児島 46
甲5								
乙1								
乙2								
乙3								
乙4								
乙5								
乙6								
乙7								

※印は、記入しないでください  
● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し、かい書で記入してください  
○ 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください  
● 免状番号は、免状番号に下線を記されているものを○を記入してください

(A面) 試験センター発行 502

# 消防設備士試験受験願書記入例 < B面 >

## B面 (表)

別記様式第1号の6 (第33条の13関係)  
消防設備士試験受験願書

試験種別: ショウボウ 消防  
受験者名: タロウ 太郎  
住所: 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 9-9  
消防マンシヨン 999号  
電話: 090-1234-5678

試験科目: 電気工事士

試験料: ¥6600

試験日: 〇〇年〇〇月〇〇日

試験の免除: 〇

備考: 1. この用紙の大小は、日本産業規格A4とすること。  
2. 本種の欄は、この用紙の所属する都道府県名を記入すること。ただし、外国籍の者は、「[ ]」と記入すること。  
3. 捺印の欄は、[ ]と記入すること。

部分は、受験願書A面に記入された内容が複写されます。

## 注意事項

- 必ず、当センターの払込取扱票を使用し、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で試験手数料を払い込んでください。(※払込みにかかる手数料は受験申請者負担)
- 郵便局又はゆうちょ銀行の日附印(願書受付期間最終日まで)が押されていることを確認し、「振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書添付用」を願書B面(表)の所定の欄に貼り付けてください。
- 本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」では、申請できません。(7・8ページ参照)
- 「振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書添付用」を紛失した場合、当センターでは責任を負えません。その場合は、再度払込みをしてください。

7・8ページ「6 書面申請(2) 試験手数料の払込方法」を参照し、金額・氏名・郵便局(ゆうちょ銀行)の日附印があることを確認し、ここに貼付けてください。

## B面 (裏)

各種証明書等貼付欄  
この部分にのりづけしてください。

都道府県等コード表

北海道01	福島07	東京13	山梨19	滋賀25	鳥取31	香川37	熊本43
青森02	茨城08	神奈川14	長野20	京都26	島根32	愛媛38	大分44
岩手03	栃木09	新潟15	岐阜21	大阪27	岡山33	高知39	宮崎45
宮城04	群馬10	富山16	静岡22	兵庫28	広島34	福岡40	鹿児島46
秋田05	埼玉11	石川17	愛知23	奈良29	山口35	佐賀41	沖縄47
山形06	千葉12	福井18	三重24	和歌山30	徳島36	長崎42	沖縄99

※証明書に未記入、押印漏れがないことをご確認ください。不備のある証明は受理できません。

氏名: \_\_\_\_\_ 年月日: \_\_\_\_\_

経験内容: 1 整備経験 2 工事補助経験 3 その他( )

実務経験期間: 年月日から 年月日まで

証明者: 代表者 (会社等) の印  
代表者(証明者の役職)印

既得消防設備士免状(コピー)貼付欄

裏 表

甲種受験資格証明書や、試験の一部免除を受けるための証明書等を貼付。  
※5・6・12・13ページ参照

実務経験資格(6ページ参照)で甲種試験を受験する方は、勤務先から証明を受けてください。  
※氏名・生年月日・経験内容・実務経験期間・消防用設備等の種類・証明日・証明者を漏れなく記入し、必ず証明者の押印をもらってください。  
※全ての項目を記入してください。  
※証明内容に漏れがある場合や、事業者及び代表者両方の押印がないものは、甲種の受験資格として認められません。

「工事補助5年」の証明は、受験しようとする消防設備士試験の指定区分に係る消防用設備等の工事の補助の経験が必要です。

消防設備士の免状をお持ちの場合は、受験資格や試験の一部免除に関係なく、必ず免状の写しを添付してください。(裏面に記載事項がある場合は、裏面の写しも添付)  
※免状を紛失している場合は再交付手続きが、氏名・本籍に変更がある場合は書換手続きが必要になります(免状への旧姓併記も可能です)ので、事前にお問い合わせください。

## 7 電子申請

電子申請される方はこちらの QR コードから→



### (1) 申請方法

インターネットで受験申請する場合は、下表の内容を確認し、当センターのホームページから申請してください。なお、複数受験を申請する場合は、必ず書面で申請してください。

種類	内容		電子申請の可否	備考	
甲種	特類	甲種第1～第3類のいずれか1つ以上の免状の交付を受けており、かつ、甲種第4類と甲種第5類の両方の免状の交付をうけている方	○	<b>※受験申請時に証明書の提出が必要な受験については電子申請できません。</b> ※電子申請ができる試験種類は、 <b>1日の試験で1種類のみ</b> です。 <b>複数受験される方は、書面申請</b> してください。 ※電子申請した場合、受験票は受験者本人が印刷し、試験当日持参してください。  <b>詳しくは当センターホームページの「電子申請に関するQ&amp;A」を確認してください。</b>	
	第1～第5類	甲種免状を取得している方	試験科目の一部免除を受けない方		○
			消防設備士免状による試験科目の一部免除を受ける方		○
			消防設備士免状以外による試験科目の一部免除を受ける方		×
	上記以外の受験資格者		×		
乙種	試験科目の一部免除を受けない方		○		
	試験科目の一部免除を受ける方	消防設備士免状による試験科目の一部免除を受ける方	○		
		消防設備士免状以外による試験科目の一部免除を受ける方	×		
複数受験	電気工事士免状所有者で、試験科目の一部免除を受ける方は、甲種第4類と乙種第7類または乙種第4類と乙種第7類の組み合わせにより同時受験が可能		×		
再受験	過去3年以内に書面申請又は電子申請し、受理された経験がある方で、同じ試験種類を再度受験する方		○	※入力時に前回受験の受験票(控)又は試験結果通知書が必要です。	

- (注) ①受付開始日の午前9時から締切日の23時59分までに申請が完了している受験申請が有効となります。期間内に申請が完了しなかった場合、今回の試験は受験できません。  
 ②受験票は必ずA4用紙に印刷してご持参ください。  
 ③甲種消防設備士免状を取得していることによる甲種受験資格のある方でも、免状番号(免状の写真下に記載されている12桁の番号)のない古い免状をお持ちの方は電子申請できません。書面で申請してください。

### (2) 試験手数料の払込方法 (電子申請の場合)

電子申請による払込方法は、次の3種類から選択できます。決済方法にかかわらず、**払込手数料は一律230円(申請者負担)**となります。(※学校など団体登録している団体による申請を除く)  
**一度払込みされた試験手数料は、お返しできません。**試験日、試験会場、試験手数料等十分ご確認ください。

決済方法	決済内容
ペイジー(Pay-easy)	情報リンク方式、オンライン方式
コンビニエンスストア決済	セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート
クレジットカード決済	VISA、マスターカード、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース

※電子申請に関するお問い合わせ先

(一財) 消防試験研究センター 電子申請室  
 専用電話 0570-07-1000 (有料)  
 受付時間 9:00~17:00 (土日・祝日を除く)  
 ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

## 8 試験の方法

**筆記試験**：甲種、乙種とも四肢択一式のマークシートです。

**実技試験**：鑑別等、製図、ともに写真・イラスト・図面等による記述式です。（甲種特類にはありません）

## 9 試験科目、問題数及び試験時間

### (1) 甲種特類（甲種特類に実技科目はありません）

試験科目		問題数	試験時間
筆記	消防関係法令	15	2時間45分
	工事整備対象設備等の構造・機能及び工事又は整備の方法	15	
	工事整備対象設備等の性能に関する火災及び防火に係る知識	15	

### (2) 甲種第1類～甲種第5類及び乙種

種別	試験科目	問題数							試験時間		
		一類	二類	三類	四類	五類	六類	七類	区分別	計	
甲種 (特類以外)	消防関係法令	共通	8	8	8	8	8	—	2時間15分	3時間15分	
		類別	7	7	7	7	7	—			
	基礎的知識	機械	6	6	6	—	10	—			
		電気	4	4	4	10	—	—			
	構造・機能及び工事・整備	機械	10	10	10	—	12	—			
		電気	6	6	6	12	—	—			
		規格	4	4	4	8	8	—			
	計		45	45	45	45	45	—			
	実技	鑑別等	5					—			15分
		製図	2					—			45分
乙種	消防関係法令	共通	6	6	6	6	6	6	1時間30分	1時間45分	
		類別	4	4	4	4	4	4			4
	基礎的知識	機械	3	3	3	—	5	5			—
		電気	2	2	2	5	—	—			5
	構造・機能及び整備	機械	8	8	8	—	9	9			—
		電気	4	4	4	9	—	—			9
		規格	3	3	3	6	6	6			6
	計		30	30	30	30	30	30			30
	実技	鑑別等	5					—			15分

## 10 試験科目の一部免除及び証明書類（甲種特類に免除はありません。）

次表13ページ【試験科目の一部免除を受けることができる資格及び免除内容】の(1)～(6)に該当する方は、申請により試験科目の一部免除を受けることができます。2つ以上の資格を有する方は、それぞれの資格ごとに一部免除を申請できます。

**試験科目の一部免除を希望する場合は、有する資格の証明書類を受験願書B面（裏）に貼付し、受験願書A面「試験の免除」欄の「受ける」/「受けない」に必ず○を記入してください。免除を「受ける」を選択していても、証明書類の提出がない場合は一部免除を受けることはできません。**

電子申請の場合は、消防設備士免状の免状番号を電子申請入力画面で入力し、一部免除を「受ける/受けない」を選択してください。電子申請では、消防設備士以外の資格で科目免除を受けることはできません（11ページ参照）。消防設備士以外の資格での科目免除を希望する方は、書面申請してください。

## 【試験科目の一部免除を受けることができる資格及び免除内容】

該当資格	免除内容	証明書類
(1) 消防設備士	下記科目免除一覧表のとおり	消防設備士免状
(2) 電気工事士 <small>(電気工事士試験に合格していても免状を所持していない方及び認定電気工事従事者は免除を受けることはできません)</small>	前記9の筆記試験のうち、「消防関係法令」を除き、「基礎的知識」及び「構造・機能及び工事・整備」のそれぞれの科目中における「電気に関する部分」が免除。 さらに、実技試験において、甲種第4類又は乙種第4類を受験する場合は、鑑別等試験の間1が免除になり、乙種第7類の場合は、全問が免除。	電気工事士免状
(3) 電気主任技術者	前記9の筆記試験のうち、「消防関係法令」を除き、「基礎的知識」及び「構造・機能及び工事・整備」のそれぞれの科目中における「電気に関する部分」が免除。	電気主任技術者免状
(4) 技術士	前記9の筆記試験のうち、技術の部門に応じ「基礎的知識」と「構造・機能及び工事・整備」が免除。 ●機械部門：第1, 2, 3, 5, 6類 ●電気・電子部門：第4, 7類 ●化学部門：第2, 3類 ●衛生工学部門：第1類	技術士第2次試験若しくは本試験の合格証明書又は技術士登録証
(5) 日本消防検定協会又は指定検定機関の職員で、型式承認の試験の実施業務に2年以上従事した方	前記9の筆記試験のうち、「基礎的知識」と「構造・機能及び工事・整備」が免除。	型式承認試験の実施業務の従事証明書
(6) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち専科教育の機関科を修了した方	乙種5類、乙種第6類を受験する場合、実技試験のすべてと、前記9の筆記試験のうち「基礎的知識」(機械に関する部分) 全問が免除。	消防団員歴の証明書の原本及び消防学校の教育(機関科)修了証

※証明書類のうち 部分はコピーを、その他の証明は原本を提出

## 【消防設備士資格による科目免除一覧表】

区分	受験する消防設備士試験の種別												
	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
既 に 取 得 し て い る 資 格 種 別	甲1	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	
	甲2	◎	◎	○	○	◎	○	◎	○	○	○	○	
	甲3	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	
	甲4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
	甲5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	
	乙1	※乙種消防設備士の資格で、甲種消防設備士試験の科目免除を受けることはできません。					○	◎	◎	○	○	○	○
	乙2						◎	◎	○	○	○	○	
	乙3						◎	◎	○	○	○	○	
	乙4						○	○	○	○	○	◎	
	乙5						○	○	○	○	◎	○	
	乙6						○	○	○	○	◎	○	
	乙7						○	○	○	◎	○	○	

記号の凡例 ◎：消防関係法令の共通部分と基礎的知識が免除

○：消防関係法令の共通部分が免除

## 1 1 複数受験（書面申請に限る）

電気工事士免状の所有者で、かつ、試験の一部免除を受ける方に限り、甲種第4類と乙種第7類、又は乙種第4類と乙種第7類を同時に受験することができます。この場合、受験する種類ごとにそれぞれの受験願書を作成し、2種類をホチキス等で止めて提出してください。

**複数受験を希望する場合は、2種類とも書面による申請を行ってください。電子申請はできません。**

## 1 2 受験票及び写真

### (1) 受験票について

書面申請された方、電子申請された方、いずれの場合も受験票に記載されている試験日、試験会場、集合時間、試験開始時間等を確認し、**写真を貼付し、試験当日必ず持参してください。受験票がないと、受験できません。**

受験票（控）は、合格発表の確認に必要です。また、再度同一種類を受験される場合の資格証明に代えることができますので、大切に保管してください。

書面申請された方	試験日のおよそ10日前に <b>当センターから郵送</b> します。 試験日の5日前までに届かない場合は、当センター(099-213-4577)にお問い合わせください。 <b>※受験票は圧着はがきです。紛失にご注意ください。</b>
電子申請された方	試験日のおよそ10日前に、登録されたメールアドレス宛てにダウンロードできる旨のメールを送信します。ダウンロードには電子申請受付番号(受付完了メールに記載)が必要です。 <b>受験者本人が受験票をダウンロードして印刷し、試験当日必ず持参してください。</b> (当センターから郵送はしません。)

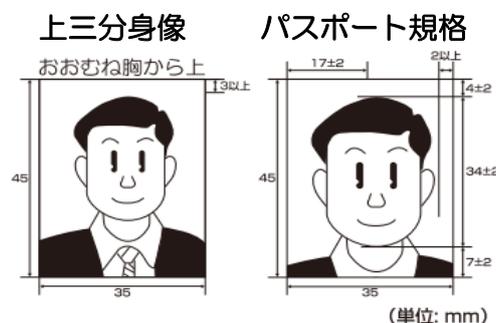
### (2) 適正写真について（※書面申請・電子申請共通）

**受験日前6ヶ月以内に撮影した正面、無帽**（宗教上又は医療上の理由により顔の輪郭を識別できる範囲内において頭部を布等で覆うものである場合を除く）、**無背景、上三分身像の縦4.5cm、横3.5cm又はパスポート規格の大きさで無枠とし、鮮明な写真**（裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入）1枚を受験票に貼ってください。

受験票に貼り付けする際は、のりがはみ出ないように注意してください。なお、セロハンテープでの貼り付けはしないでください。（写真裏面に両面テープでの貼り付けは可。）

**受験票の写真は、受験者本人の確認及び合格された際の免状の作成に使用しますので、下図及び注意書きをよく読み、準備してください。不適切な写真の場合は、再提出していただきます。**

#### 【受験票の写真に関する注意】 **※免状の写真として使用します。**



- 6ヶ月以内に撮影された鮮明なもの（カラー、白黒どちらでも可）
- 写真サイズ（枠なし）縦4.5cm×横3.5cm  
無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く）、無背景、申請者本人のみが撮影された正面上三分身像又はパスポート規格のもの（左の図を参照）
- 背景と髪の色が同色系でなく影がないもの
- 写真専用用紙で印刷した鮮明なもの

#### 《不適切写真例》

表面にキズのある写真、イヤホン、サングラスやマスクの着用、眼鏡のフレームや眼鏡レンズの証明による反射、髪が目にかかっているもの、普通紙への印刷や写真のコピーなど



## 【書面申請者用受験票イメージ】

※試験日のおよそ10日前に願書に記載された住所宛てに郵送します。

※受験票は、圧着ハガキです。(下図は圧着をはがした状態)

**④ 消防設備士試験 受験票 (控)**

受験番号	J1-0000	試験の種類	甲種第1類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和 年 月 日 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	〇〇大学 鹿児島市〇〇町〇—〇		
(試験室)	試験室 No.〇		
免除科目	法令共通	資格判定コード	02
既得免状	甲4		

消防 太郎 様

受験票

(一財)消防試験研究センター 鹿児島県支部

〒890-0064  
鹿児島県鹿児島市鴨池新町 6-6 鴨池南国ビル 3階

Tel 099-213-4577

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。  
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。  
次の場合は受験することができません。  
1 受験票がない場合  
2 受験票に写真を貼っていない場合  
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合  
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み  
に必要ですので、大切に保管してください。

**消防設備士試験 受験票**

**写真** ①

縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載  
6ヶ月以内に撮影したもの  
(正面、無帽(受験上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像)  
しっかりとり付けてください。(セロハンテープ不可)

受験番号	J1-0000	試験の種類	甲種第1類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。 ②		
試験日時	令和 年 月 日 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	〇〇大学 鹿児島市〇〇町〇—〇		
(試験室)	試験室 No.〇		
免除科目	法令共通	資格判定コード	02
既得免状	甲4		

試験当日、この受験票は回収します。

## 【電子申請者用受験票イメージ】

※試験日のおよそ10日前にダウンロード可能メールを送信します。

※受験票のダウンロードには、電子申請受付番号が必要です。(受付完了メールでご確認ください)

※受験者本人が受験票を印刷してください。(拡大縮小せずA4用紙に印刷)

**注意事項**

- 次の場合は受験することができません。  
(1) 受験票がない場合  
(2) 受験票に写真を貼っていない場合  
(3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 不正行為及び写真の指示に反しない場合は退場を命じ、失格とします。
- 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いすることがあります。
- 電話による各室の問い合わせには、応じられません。
- 試験会場内の特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに緊急情報又は重要なお知らせとして掲示します。  
特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に對して延期等する場合は緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。
- 試験会場は全面禁煙です。
- 車、バイク、自転車での来場はご遠慮ください。
- 合格後の免状交付申請書は試験当日にお知らせします。

**消防設備士試験 受験票**

**写真** ①

縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載  
6ヶ月以内に撮影したもの  
(正面、無帽(受験上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像)  
しっかりとり付けてください。(セロハンテープ不可)

受験番号	J1-0000	試験の種類	甲種第1類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。 ②		
試験日時	令和 年 月 日 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	〇〇大学 鹿児島市〇〇町〇—〇		
(試験室)	試験室 No.〇		
免除科目	法令共通	資格判定コード	02
既得免状	甲4		

1325021212102W200259 □□□  
001-06-0001 60001  
試験当日、この受験票は回収します。

**④ 消防設備士試験 受験票 (控)**

受験番号	J1-0000	試験の種類	甲種第1類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和 年 月 日 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	〇〇大学 鹿児島市〇〇町〇—〇		
(試験室)	試験室 No.〇		
免除科目	法令共通	資格判定コード	02
既得免状	甲4		

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。  
注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。  
次の場合は受験することができません。  
1 受験票がない場合  
2 受験票に写真を貼っていない場合  
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合  
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み  
に必要ですので、大切に保管してください。

## 受験票の準備(流れ)

- ① 受験票に適正写真(14ページ【受験票の写真に関する注意】参照)を貼り付ける。  
(のりがはみ出さないよう注意。  
セロハンテープでの貼り付け不可。)
- ② 氏名欄に氏名をかい書で記入。
- ③ 切り取り線に沿って受験票と受験票(控)を切り離す。
- ④ 受験票(控)は、合格発表の確認の際必要となるので、大切に保管。  
(同じ種類を再度受験する場合、資格証明となります。)
- ⑤ 電子申請者は、点線に沿って山折りし、裏面をのり付け。

※受験票がないと、受験できません。  
※受験票は試験当日回収します。

## 1 3 試験当日

### (1) 持ち物

- **受験票**（縦4.5cm×横3.5cmの写真のり付けしたもの）  
複数受験者は、受験する種類ごとに合計2通必要（写真も2枚必要）です。**受験票がない場合、受験票に貼付する写真をお持ちでない場合、本人と確認できない写真を貼っている場合は受験できません。**
  - 筆記具（鉛筆又はシャープペンシル（HB又はB）・消しゴム）  
鉛筆やシャープペンシル以外の筆記具は、機械が読み取れませんので使用しないでください。
  - 腕時計 **【注意】試験中は腕から外して机に置き、触れることを禁止します。また、スマートウォッチは使用できません。**（大学会場は試験室に時計がありません。携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチは試験中カバンにしまい、時計としての使用は認められません。）
- ※ 咳などの症状がある方は、マスクの着用にご協力ください。

### (2) 注意事項

- **試験会場は駐車禁止**です。来場には、最寄りの**公共交通機関を利用**してください。車で来場される方は、ご自身で試験会場近隣の有料駐車場をお調べください。  
周辺道路や店舗、その他施設への無断駐車に苦情がきていますので、絶対にしないでください。（レッカー移動や警察の取締りによる違反切符等について、当センターは責任を負いません。）
- 試験中は、下敷、電卓、定規類及び携帯電話等の使用を禁止します。
- **試験会場は敷地内全面禁煙**です。
- 試験当日は、受験票の写真と本人の確認照合を行います。必要に応じて、本人確認のため係員から写真付きの身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いすることがあります。
- 電卓・携帯電話・スマートフォン等の端末機器の使用はできません。試験中にこれらの機器を使用すると不正行為となります。
- **車いす等で受験される方は、受験願書提出の際、事前に当センター支部にご相談ください。**（車いす対応が難しい試験会場があります。）
- **一旦提出し、受理された受験申請書類はお返しできません。また、納入された試験手数料もお返しできません。**

## 1 4 合格基準

甲種特類は「消防関係法令」、「工事整備対象設備等の構造・機能及び工事又は整備の方法」、「工事設備等の性能に関する火災及び防火に係る知識」の科目ごとに40%以上で全体の出題数の60%以上の成績を修めた方を、甲種（特類以外）及び乙種は、筆記試験において、「消防関係法令」「基礎的知識」「構造・機能及び工事・整備」の科目ごとに40%以上で全体の出題数の60%以上、かつ、実技試験において60%以上の成績を修めた方を合格とします。

実技試験の採点は、消防法施行規則第33条の9の規定により、筆記試験が合格基準に達した方を対象としています。

なお、試験の一部免除がある場合は、免除を受けた以外の問題で上記の成績を修めた方を合格とします。

## 1 5 合格発表

合格発表は、試験日からおおむね1か月後を予定しています。

**受験者全員に結果通知書を郵送**します。（当センター鹿児島県支部のホームページにて、結果通知書の発送日をお知らせします。）また、合格発表日には、当センター鹿児島県支部の掲示板に合格者の受験番号を公示するほか、正午から当センターのホームページで合格者の受験番号を掲載します。

- ※ **試験結果の合否に関する電話による問い合わせ（自身の受験番号の確認を含む）、試験問題及びその解答に関する問合せには、一切応じられません。**
- ※ 試験会場外での業者による試験結果通知の有料サービス等は、当センターとは一切関係ありません。

## 16 合格後の免状交付申請の手続き

### (1) 申請方法

合格された方は、次の①～③の書類をそろえ、郵送又は持参により免状の交付申請を行ってください。

#### ① 消防設備士免状交付申請書

「免状交付申請書」は、「試験結果通知書」と一連になっています。(※切り離さないでください。)

免状交付申請書に、申請日、申請者の氏名、電話番号(日中連絡がとれる連絡先)を記入し、手数料として**鹿児島県収入証紙で2,900円分**を手数料欄にのり付け(セロハンテープでの貼り付け不可)してください。**複数種類に合格された方は、申請書ごとに2,900円分必要**となります。

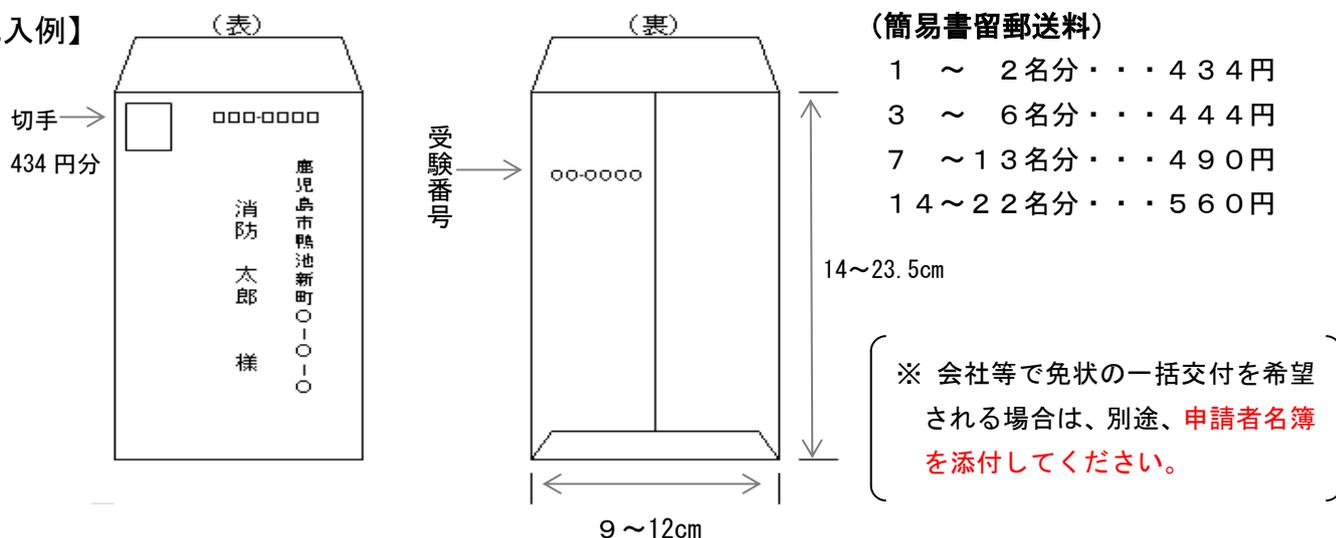
(注)鹿児島県収入証紙は、鹿児島県庁1階の生協売店や県内各警察署内の交通安全協会、各保健所内の食品衛生協会等で販売しています。詳しい販売場所については、鹿児島県庁のホームページでご確認ください。(「鹿児島県公式ホームページ>ホーム>暮らし・環境>税金>証紙」で検索)

#### ② 新規免状送付用封筒

①で申請された新たに交付する免状を申請者へ返送するための封筒です。

定形サイズの封筒(長さ14cm~23.5cm、幅9cm~12cm)のおもて面に申請者の住所・氏名を記入し、**434円分の切手**(令和6年4月1日現在の簡易書留郵送料です。令和6年秋頃郵便料金の改定が見込まれています。(2)の申請期限を過ぎて申請される際は、事前に郵送料をお問い合わせください。)を貼り、裏面の上部左側に受験番号を記入してください。

#### 【記入例】



#### ③ 既得の消防設備士免状

**今回申請する種類以外の消防設備士免状を持っている方は、免状交付申請時に添付してください。**

なお、既得免状を紛失(亡失)している方は、必ず再交付の手続きが、また、本籍・氏名等に変更のある方は必ず書換えの手続きが必要です。これらの手続きが完了しないと免状の交付ができません。(免状に旧姓併記を希望の場合は、事前にお問合せください。)

### (2) 申請期限

試験結果通知書に記載しています。(期日を過ぎた申請は、下記「17 免状の交付」より交付が遅れます。また、**試験日から6ヶ月を過ぎて申請される場合は、写真の再提出が必要**となります。)

### (3) 申請先(郵送・窓口持参どちらも可)

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町6-6 鴨池南国ビル3階  
一般財団法人 消防試験研究センター鹿児島県支部

## 17 免状の交付

新規免状の交付は、結果通知書に記載された期日までに提出された方については令和6年9月中旬以降、順次、提出いただいた返送用封筒で郵送します。(簡易書留のため印鑑受領となります。不在連絡票が入っていた際は、必ず郵便局に連絡してください。)

## 【参考】

## 指定学科一覧表（例示）

次の「学科」を修めて卒業した方は、「卒業証明書（原本）」又は「卒業証書（コピー可）」の提出で受験できます。

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、旧制の専門学校の卒業生用			高等学校、中等教育学校、旧制の中等学校の卒業生用	
ア	安全工学科				
エ	衛生工学科	エネルギー工学科	エネルギー機械工学科		
オ	応用化学科 応用電子工学科	応用機械工学科 応用反応化学科	応用精密化学科 応用理化学科		
カ	開発学科 海洋建築工学科 環境化学科 環境工学科 化学機械学科 化学工業科	開発工学科 海洋土木開発工学科 環境計画工学科 環境整備工学科 化学機械工学科 画像応用工学科	開発土木工学科 海洋土木工学科 環境建設工学科 化学環境工学科 化学工学科 画像工学科	開発機械科 化学工学科 環境工学科	化学科 化学工業科 環境土木科
キ	機械科 機械システム工学科 機関科 機能機械学科 金属工学科	機械工学科 機械システム工学課程 機器工学科 機能高分子学科	機械材料工学科 機械理学科 基礎工学科 金属学科	機械科 機械工学科 機械システム科 機械電気科 機関科	機械技術科 機械工作科 機械製図科 機械電子科 金属工業科
ケ	計測工学科 建設学科 建築工芸学科 原動機械科	建設基礎工学科 建築学科 建築設備工学科	建設工学科 建築工学科 原動機科	計測科 建設科 建設工学科 建設システム科 建築土木科 原動機械科	計測工業科 建設技術科 建設工業科 建築科 原動機科
コ	工業化学科 高分子材料工学科 交通工学科 構造工学科 合成化学工学科	高分子化学科 交通機械学科 光電機械工学科 構築工学科	高分子工学科 交通機械工学科 光電工学科 合成化学科	工業科 工業管理科 工業計測科 航空車両整備科	工業化学科 工業技術科 高分子工学科
サ	産業機械工学科	材料工学科		材料技術科 産業技術科	材料システム科
シ	資源開発工学科 社会開発工学科 情報電子工学科	資源循環化学科 情報処理工学科 情報工学科	資源循環工学科 情報通信工学科	色染化学科 自動制御科 情報システム科 情報通信科	自動車科 情報技術科 情報電子科
ス	水工土木工学科			水産工学科	
セ	制御機械工学科 生産機械工学科 精密機械工学科 設備工学科 繊維工学科 繊維システム工学科	制御工学科 生産工学科 精密工学科 繊維化学工学科 繊維工業化学科 船舶機関工学科	制御情報工学科 生産精密工学科 石油化学科 繊維機械学科 繊維高分子工学科	制御機械科 生産システム科 設備科 設備システム科 繊維工学科	生産機械科 精密機械科 設備工業科 セラミック科 繊維システム科
ソ	造船学科			総合技術科	造船科
チ				地質工学科	
ツ	通信工学科	通信材料工学科		通信工業科	通信工学科

## 指定学科一覧表（例示）

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、旧制の専門学校の卒業生用			高等学校、中等教育学校、旧制の中等学校の卒業生用	
テ	鉄鋼冶金学科	電気系	電気化学科	電気科	電気化学科
	電気学科	電気機械工学科	電気工学科	電気技術科	電気工事科
	電気情報工学科	電気通信学科	電気電子工学科	電気情報科	電気通信科
	電気電子システム工学科	電機工学科	電子機械工学科	電気電子科	電子科
	電子機器工学課程	電子工学科	電子材料工学科	電子機械科	電子技術科
	電子情報学科	電子情報工学科	電子制御工学科	電子工学科	電子工業科
	電子通信学科	電子通信工学科	電子電気工学科	電子情報科	電子制御科
	電子物性工学科	電子理学科	電波通信学科	電子電気科	電波科
ト	都市工学科	土木建設工学科	土木工学科	都市工学科	土木科
	動力機械工学科			土木建築科	
ネ	燃料化学科	燃料工学科			
ノ	農業機械学科	農業土木工学科		農業機械科	農業工学科
				農業土木科	
ハ	船用機械工学科	船用機関科	反応化学科		
フ	物質化学工学科	物質工学科			
△				無線通信科	
ヤ				冶金科	
コ	有機材料工学科				
ク	溶接工学科			窯業科	

- ① 学科の名称にかえて「部門」、「類」、「系」又は「専攻」等の名称を用いるのは、学科又は課程とみなします。
- ② 学科名等の下に「専攻」、「系」又は「コース」等の名称を用いるものは、学科と同等とみなします。
- ③ 「工」、「学」又は「工学」等の文字の有無により学科名の異なるものは、同学科名として取り扱うものとします。
- ④ ２種類以上の学科名称があり、その配列が逆のものについては、同等のものとみなします。  
 (例)「制御機械工学科」⇒「機械制御工学科」の場合は、同等とみなします。
- ⑤ 複数の学科の名称を総合したものについては、同等のものとみなします。  
 (例)「電気情報工学科」＋「電気通信学科」⇒「電気情報通信工学科」の場合は、同等とみなします。
- ⑥ 上記の名称を含む学科であっても、明らかに「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野」と認められないものは除きます。

## 授業科目一覧表（例示）

次の名称が含まれる授業科目は、原則として「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野と認められる授業科目」として扱います。

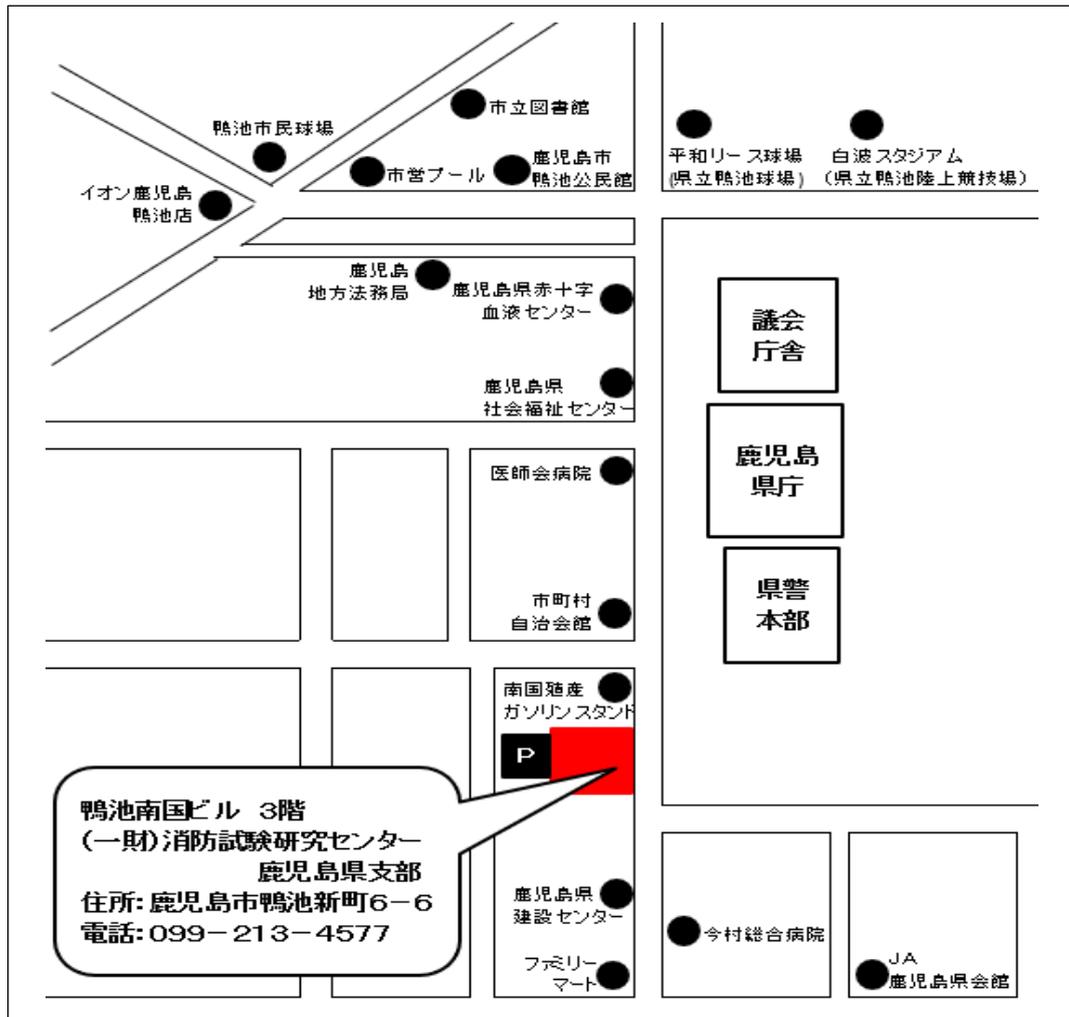
	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、旧制の専門学校の卒業生用				高等学校、中等教育学校、旧制の中等学校の卒業生用		
ア	アナログ電子回路	圧縮性流水	圧縮性流体力学	油空圧工学			
イ	移動工学	一般構造（土木系・建築系のみ）			インテリア装備	意匠製図	
ウ	運輸施設工学						
エ	衛生工学	エネルギー工学	エンジン流体力学		衛生・防災設備	衛生設備	
オ	応用化学	音響学	オプトエレクトロニクス			応用力学	織物機械
カ	ガスタービン	化学工学	火災工学	加工機械学	化学工学	化学工業一般	
	加工冶金学	河川工学	架橋力学	画像工学	化学工場	化学装置	
	回路理論	過渡現象論	海岸工学	海洋建築	化学反応	環境工学	
	開発機械学	完全流体力学	岩石力学	岩盤力学			
	環境及びその他の環境関係（土木系・建築系のみ）						
キ	CAD/CAM	気体力学	機械工学	機械製作	機械一般	機械製作	
	金属材料学	機械要素	機器制御	機器分析	機械・電気	機関乗船実習	
	機構学	機素動力学	機電変換工学	機能材料	金属加工	金属材料	
	強度設計学	給排水設備	橋梁工学	凝固加工学	漁船機関		
	基礎工学・基礎構造（土木系・建築系のみ）						
ク	空気力学	空港工学	空調設備	掘削機械学	空気調和設備		
ケ	系統工学	計測工学	珪酸塩工業化学	結晶塑性学	計測回路	計測・制御	
	建設機械	建築力学	建築材料	建築設備	建築一般	建築構造	
	建築防災	原動機学	現代制御論	現代無機工業化学	原動機	建築測量	
					原子工学一般		
コ	コンクリート工学	固体力学	工業化学	工業計測	工業一般	工業数理	
	工業地質学	工業分析	工作機械	交通工学	工業化学	工業基礎	
	光学	航空工学	航空材料学	高温化学	工業材料	工業分析	
	高周波工学	交流理論	高電圧工学	高度加工技術	工芸材料力学	鉱山機械	
	高分子化学	港湾工学	構造工学	合成化学			
サ	作業システム工学	砂防工学	材料学	材料力学	材料加工	材料技術基礎	
	錯体触媒化学	産業機械			材料製造技術	材料施工	
シ	システム工学	ジェット機関	資源システム工学	地震工学	色染化学	自動車工学	
	地盤工学	自動化設計	自動車工学	磁気工学	自動制御	情報技術	
	実験計測法	写真測量	車輛工学	集積回路工学	食品化学		
	潤滑工学	商船設計	焼結工学	消防設備			
	照明工学	触媒化学	上下水道工学	情報工学			
	蒸気タービン	信号処理論	振動学				
ス	スイッチング回路理論		水工学	水産土木工学	水工	水産工学	
	水質工学	水道工学	水理学	水力発電所	水道	水利	
	水路工学	数値制御システム工学		数値熱流体力学	水理		
セ	セラミック化学	センサ工学	施工法	生合成化学	生産実習	製造機器	
	生産工学	生物化学	生体高分子	生物有機化学	設備計画	設備・管理	
	制御機器	制御工学	精密加工学	製造化学	セメント	染色	
	石炭工学	石油化学	切削工学	接合工学	セラミック技術	船舶構造	
	設計工学	設備工学	船体構造工学	船舶工学	船舶設計		
	線形回路	繊維化学	繊維高分子工学				
ソ	塑性工学	送電	送配電工学	造船製図	造船工学	造船実習	
	装置工学	測量学			測量		
タ	ダム工学	耐震工学	耐震耐風工学	単位操作			
	炭化水素化学	弾塑性力学	暖房設備				
チ	地質学	鑄造学	超音波工学	超伝導工学	地下資源開発	地質工学	
	超電導工学	直流機器					

## 授業科目一覧表（例示）

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、旧制の専門学校の卒業生用				高等学校、中等教育学校、旧制の中等学校の卒業生用	
ツ	通信工学	通信機器	通信網工学		通信工学	通信機器
テ	データ通信	デジタル回路	鉄筋コンクリート工学		電気工学	電気化学
	鉄鋼材料学	鉄骨工学	鉄道工学	天然物合成化学	電気工事	電子工学
	伝送工学	伝熱工学	電気工学	電気音響	電子機器	電子計測
	電気機器	電気設備	電気計測	電気鉄道	電力設備	
	電気法規	電子工学	電子装置	電子デバイス		
	電子要素	電子回路	電磁気学	電磁波伝送		
	電熱工学	電波工学	電力工学	電力系統		
ト	トラクタ実習	都市環境	都市工学	都市設備学	特殊材料	土質
	土質工学	土木工学	動力工学	道路工学	土質力学	土木一般
	導電材料	特殊材料学	特殊鋼学		土木施工	都市工学
ナ	内燃機関	軟弱地盤工学				
ニ	荷役機械					
ネ	熱工学	熱機関	熱流体力学	熱力学		
	粘性	燃焼工学	燃料合成化学	燃料分析化学		
ノ	能動回路	農業機械工学	農業土木学	農業揚水機	農業機械	農業水利
	農用トラック工学	農用内燃機関学			農業土木設計	
ハ	パルス回路	波動振動	破壊力学	配電工学	発送配電	ハードウェア技術
	発電電工学	鋼構造	船用機関	発電工学	船用機関	船用電気
	反応工学	半導体				
ヒ	ピーエスコンクリート工学		非金属材料	光工学		
	光エレクトロニクス		光通信工学	光情報工学		
フ	ファインケミカル工業化学		プラズマ工学	物質強度学	船用機関	船用電気
	プラント工学	プレストレストコンクリート工学	プロセス工学	分離精錬工学		
	浮体静水力学	分析化学	物理有機化学			
ヘ	平面及び曲面構造論		変電所			
ホ	ボイラー工学	放電工学	防災工学	防災設備	放射化学	ボイラー
マ	マイクロデバイス	マイクロ波工学				
ミ	水資源工学					
ム	無機化学	無機合成	無機工業材料	無線	無線工学	無機工業化学
メ	メカトロニクス					
モ	木工機械					
ヤ	冶金工学					
ユ	油圧工学	輸送機械	誘電材料	有機化学	有機工業化学	
	有機機能材料	有機量子化学	有機構造	有機合成学		
	有機反応	有機機器学				
ヨ	溶接工学	溶接機器	溶接設計	溶接冶金学	溶接	窯業
					窯炉・燃料	
リ	利水工学	理論有機化学	流水学	流体工学	林業土木	林業機械
	流体回路	量子エレクトロニクス		量子電子工学		
レ	連続体力学		冷凍工学		冷蔵・冷凍	
ロ	ロボット工学	ロボティクス	論理回路		炉・燃料	

- ① [工学]、[学]又は[技術]等の文字の有無により科目名の異なるものは、同科目名として取扱うものとします。
- ② 上記の授業科目には、一部の関連科目も含まれます（認められない科目もあります。）。  
（例）機械工学—機械システム設計、機械振動学、機械構造力学、機械材料学等
- ③ 上記の名称を含む授業科目であっても、明らかに「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野」と認められないものは除きます。
- ④ 詳細はお問い合わせください。

# 一般財団法人消防試験研究センター—鹿児島県支部 案内図



## 個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状業務の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分理解し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

## (一財) 消防試験研究センター—鹿児島県支部

※ 当センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版及び販売は一切行っておりません。